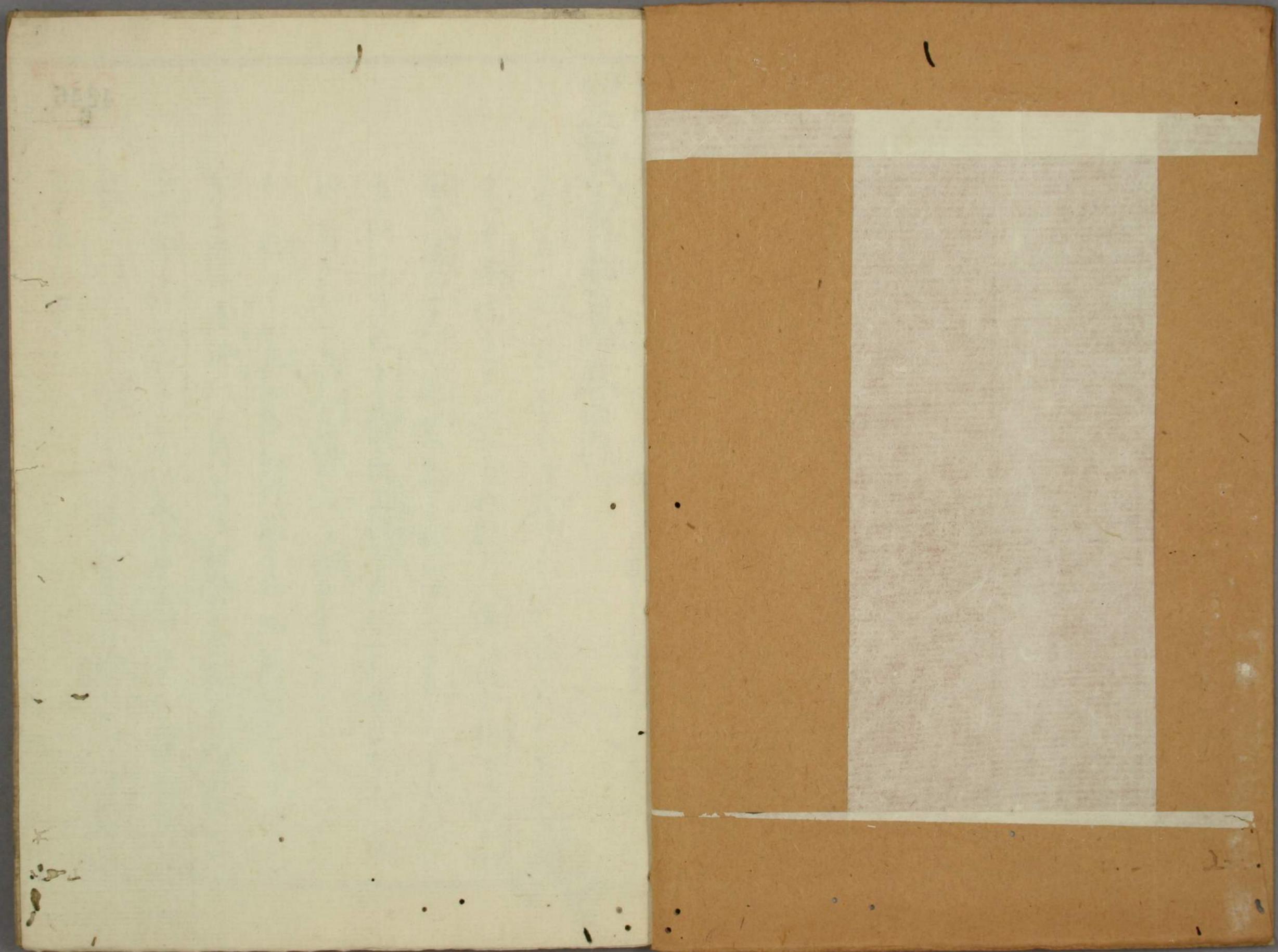


けいせい  
會  
極  
山  
六  
大尾

8  
4346  
6













Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Handwritten text below the title, starting with a large initial letter.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or date.

Main body of handwritten text on the left page, continuing the cursive script from the right page.





しんをまゝにうびきく久杖が力西伯父おじまされるアココリヤ何れも云

ぬきかきりおこよまむととりりめいけいさふよらうして福を

「サアそれいよ」こよ「まむつやとつやとおどまれば西や家さけし」

金まうけせうろ「サアそれいよア」ま「とりりめいなるそわい

り」こよ「サアそれい」ま「家さけしやうろ」ま「サア」三人「サア」返す

「さうとつや」ト桶をらんこく同くむせして「うわ」コリヤなま

「さうのドヤ」桶「ちど」うへへ「是今れ返報」んかう「ぬお致して

のけるのドヤ」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

トつこまきい又うろ桶をらんこく同くむせしてまうろとへ」ん此が自

「さうとつや」桶「ちど」うへへ「是今れ返報」んかう「ぬお致して

桶「イヤササして」は「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ

「ま」ま「か」ま「お人お十人ば多うめとへ」このドヤ



中村勘次郎



あがた  
あがた  
あがた

迎  
名  
義  
的  
亦  
市  
田  
龍  
舟



捕  
在  
多  
門  
松  
聖  
大  
ば

い  
た  
い







つるまふらねとちよとあひいまわうしつ先人此指中とて然も蘇  
危もたあしとてまよでぬれなき大をさうらうにばしとてか  
すぶと連判は通う舟がよへゆてらまう  
ふとすらとらあつとぬるしね危印ひらぶとわが今財けて之  
くの中とて  
首のりふへは一まきもあつとていづらとるんぞ  
何と判一は一まきりりてやうの何時ぬも岩田を戸の智仁  
勇は三徳とてせうとらへつてハテつる後をてひらるふスリヤよ  
つりも連判もゆとせん  
とらしと申ふら  
ゆらぬ老をコリヤアア下志あんせだばるるま  
今此連判を的券りして  
伊やまうてりてぞてハ中ぶまはのしつその  
方ハ岩田ぶのけ場の指子  
内の実否を  
ゆん  
左なうと合さる  
あり今一まきもあつとていづらとるんぞ  
のこたうびを物つてのしつまを  
まうとて来りトとせとて  
有る今一まきもあつとていづらとるんぞ  
よとて  
ありとへりてりら

伊やまうてりてぞてハ中ぶまはのしつその  
方ハ岩田ぶのけ場の指子  
内の実否を  
ゆん  
左なうと合さる  
あり今一まきもあつとていづらとるんぞ  
のこたうびを物つてのしつまを  
まうとて来りトとせとて  
有る今一まきもあつとていづらとるんぞ  
よとて  
ありとへりてりら



中山の  
中山



美川  
美川

美川  
美川

すうまア 五五ひけさうしあまね 十おとぬく一

ううはれが 船々よめやうしあまねとせうせうあふ

子入直代がしあまねと目あしいでいりうまア

昔神功皇后杉浦の磯とて釣とよれゆりのうらぶ

まうしなうしんこのたやう内よ釣針うらまうし

勅つりうしよりねうしれ門とめづうし川も号する

ははくうまおの辰辰の釣うくらぶしと船はあうらう

からし中あうらうしうあまていりうらまア

引くう久社が舟の上細代乃うらうにまがひもなうこと

じやうのうし引つとめうらうまえしからうしうしん

うまア 五五花うしうしうしうしうしうしうしうし

海切まうしあまねうらう細代れうらうつりうらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

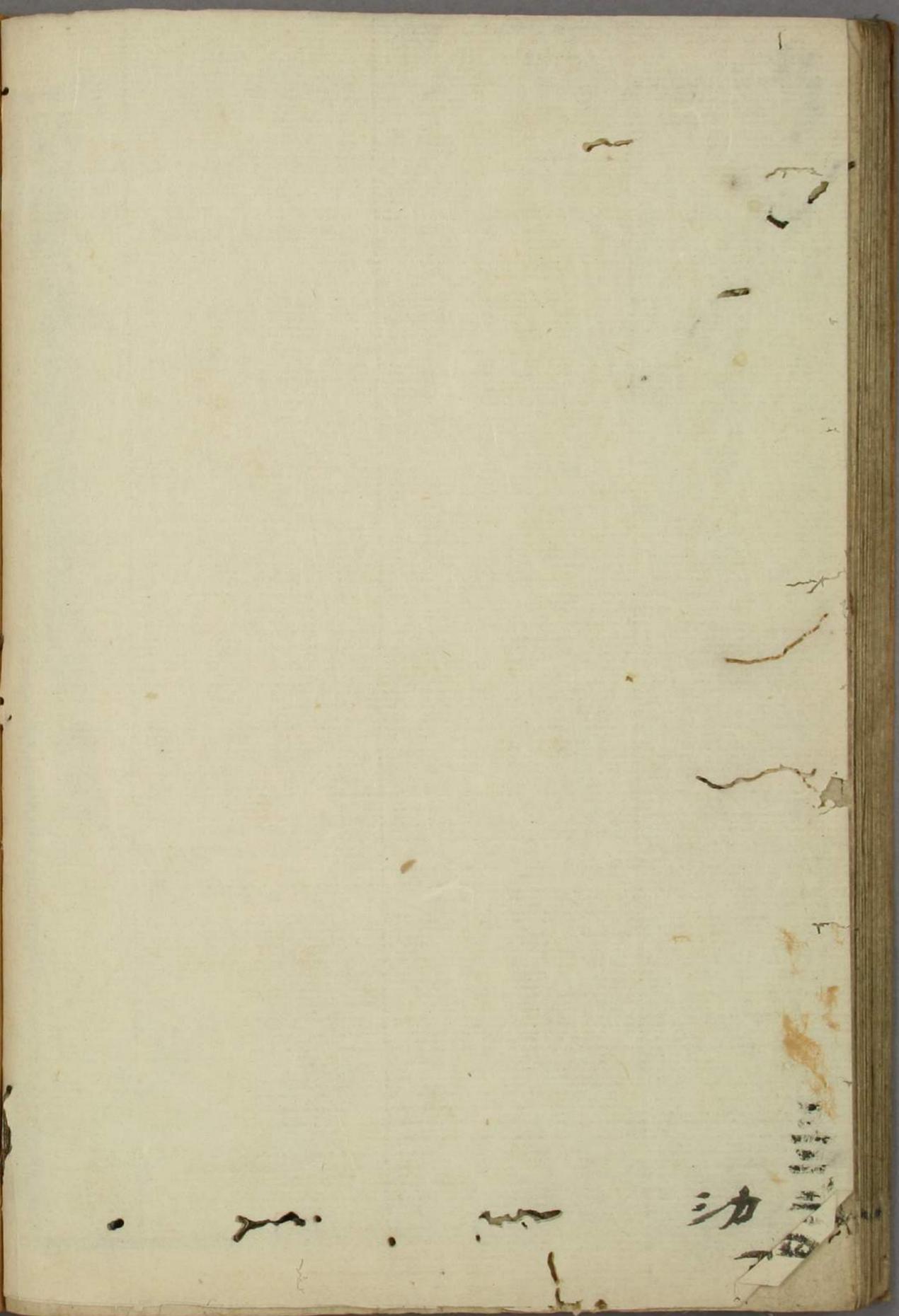
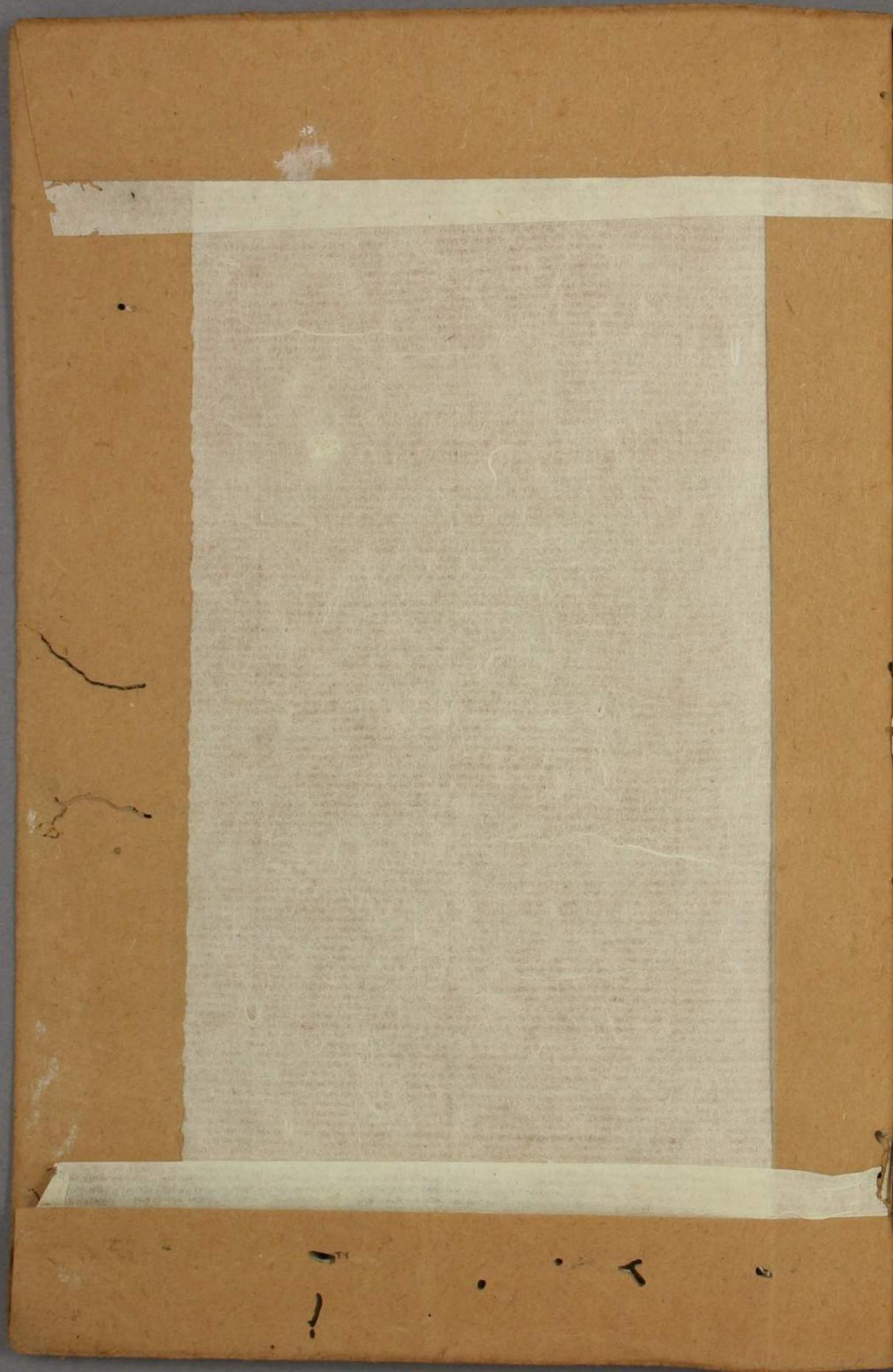
うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう

うらううらううらううらううらううらううらう





抄

卷之四

